

乱用されている主な薬物の種類

大麻 [俗称] ハッパ、マリファナ、グラス、チョコ、ガンジャ、ハシッシュ、野菜、ヘンプ など



- 酩酊感や情緒不安定など、脳に様々な不具合を生じさせる。
- 記憶や学習能力が低下し、社会生活に適応できなくなることもある。

覚醒剤 [俗称] スピード、シャブ、アイス、エス、やせ薬 など



- 神経を興奮させ、眠気や疲労感がなくなり、頭が冴えたような感じになる。
- 効果が切れると、激しい脱力感、疲労感、倦怠感に襲われる。
- 依存性が強く、幻覚や妄想が現れる事がある。

危険ドラッグ

[俗称] 合法ドラッグ
脱法ドラッグ など



- ハーブ、お香、アロマオイル、バスソルトなどに見せかけているが覚醒剤や大麻と同じような成分が含まれている。
- 覚醒剤や大麻より危険な場合もある。

MDMA

[俗称] エクスタシー
バツ など



- 錯乱状態となり、高熱や記憶障害などの症状が現れることがある。
- 強い精神依存性があり、様々な障害を引き起こす。

コカイン

[俗称] コーク、ブロウ、スノウ
ホワイト、クラック、
チャーリー など



- 神経を興奮させ、疲労感や空腹感がなくなり気分が高揚する。
- 強い依存性があり、幻覚や妄想が現れることがあり、死に至る場合がある。

薬物についてのQ&A

Q1 高校生で乱用が多い薬物は？

A1 平成28年は大麻が最も多く、都内の高校生が6人も大麻取締法違反で検挙されています。全薬物事犯でも11人の都内の高校生が検挙されており、薬物乱用は他人事ではないのです。

Q2 薬物乱用は、なぜ危険なの？

A2 人間が生活していく上で最も大切な脳を侵してしまうからです。さらに薬物は、乱用すると精神障害を発症し依存症を引き起こします。一度ダメージを受けた脳は、決して元の状態に戻りません。高校生の時期は、心身ともに急速に発達するときであり、薬物を乱用してしまうと、脳や身体の成長がストップし、心身の発達が損なわれてしまい、大変危険です。

Q3 薬物乱用のきっかけは身近にあるの？

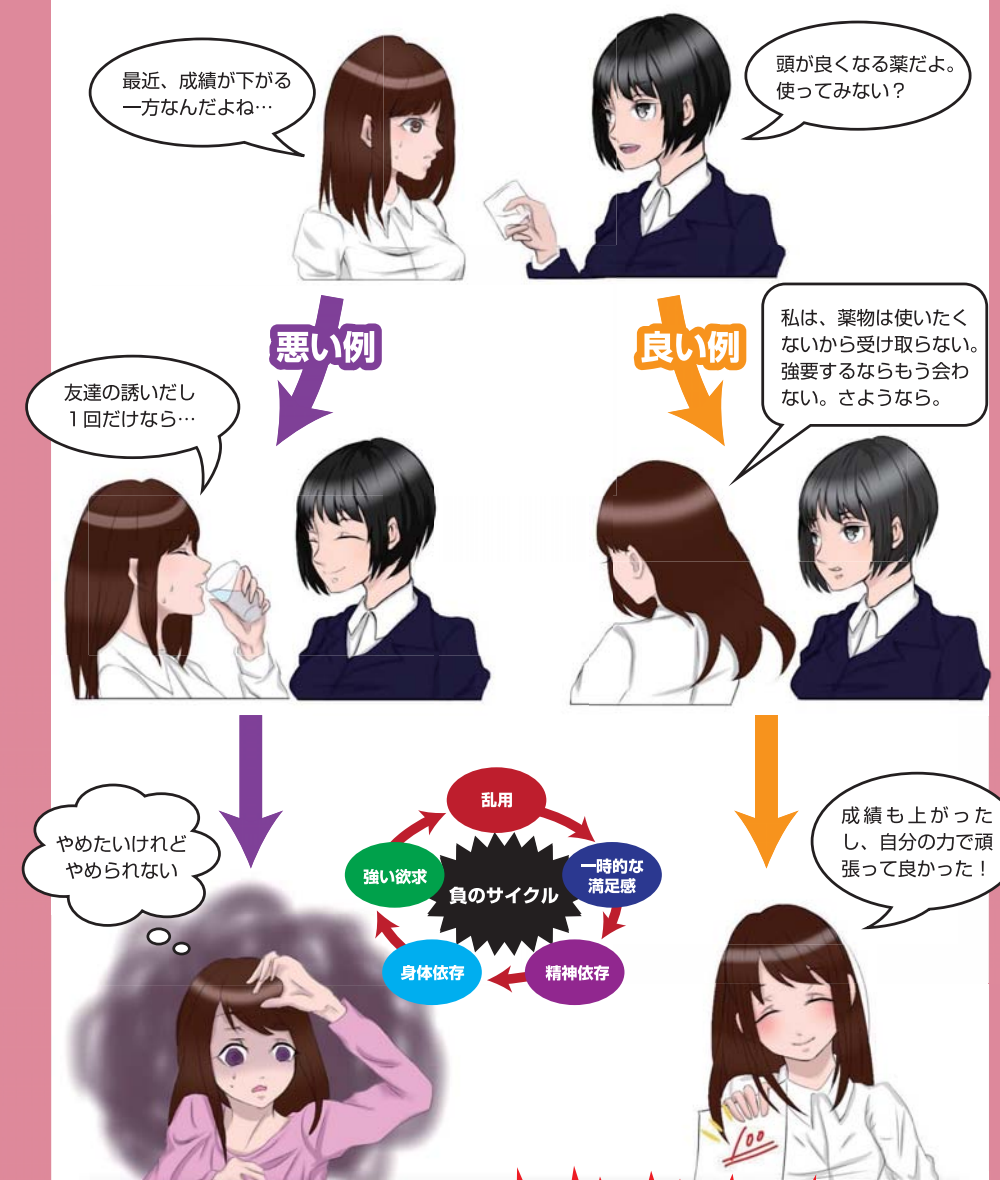
A3 違法薬物の誘惑は、至るところに潜んでいます。友人や先輩、恋人という身近な人から誘われることもあります。もし誘われたときはどんな理由であっても「断る勇気」と「立ち去る勇気」を持って、しっかりと断りましょう。また、知らないうちに飲まされたり、無理矢理飲まされたりすることもあります。危険な場所には近付かないようにしましょう。

Q4 もし薬物を飲まされた場合はどうすれば良い？

A4 一人で悩まずに、学校の先生や信頼できる大人、警察や各種相談機関にすぐに相談してください。また、薬物について悩みや疑問を感じたときも、手遅れになる前に、少しでも早く相談してください。

**どんな理由があっても
薬物を乱用してはいけません！
困ったときは、すぐに相談しよう！**

薬物の誘惑への断り方



さあ！君はどっち？

**「断る勇気」と「立ち去る勇気」
で薬物に勝とう！！**